

戸塚駅西口 第十四自転車駐車場



所在地：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-18
 駐車場面積：約6,300㎡
 施主：横浜市都市整備局
 設計：㈱オリエンタルコンサルタンツ
 施工：東電同窓・セイブ建設共同企業体
 竣工：平成22年3月

S42

戸塚駅西口地区の再開発事業は、第一段階の商業施設及びバスターミナルなどを備えた第一交通広場が完成。1階と地下1階に設けられた横浜市最大級の自転車・バイク駐車場の照明は、個別制御システム「T/Flecs(ティーフレックス)」が採用されています。

分散していた自転車・バイク駐車場を駅直結の利便性のよい交通広場に設置

横浜市のJR戸塚駅周辺は大規模な商店街として発展してきました。現在では急激な市街地化により、戸塚駅の乗降客数は1日あたり29万人。その受け皿となる戸塚駅周辺は未整備な状態となっており、特に西口ではバスセンターの位置が分かりにくく、区内の道路も狭くて駐車場も少なく、来街者にとってはたいへん不便をきたしていました。このため、「賑わいある便利で快適な街づくり」をコンセプトに、戸塚駅西口再開発事業が展開され、平成22年4月には商業施設及び第一交通広場が完成。バスセンターが配置された第一交通広場の1階と地下1階には、横浜市最大級の自転車・バイク駐車場(約3,100台)が整備されました。

照明器具個別制御システム「T/Flecs」でフロアごとにきめ細かに省エネ

地上1階及び地下1階自転車・バイク駐車場の照明は、照明器具に通信機能をもたせてそれぞれの明るさを個別にコントロールする、照明器具個別制御システムT/Flecs(ティーフレックス)を採用し、大幅な省エネが図られています。各フロアには32WHf蛍光ランプ2灯用反射笠器具ガード付(高出力連続調光25~100%通信機能付)を、多分割に区分した駐輪場通路に床上2.5m高さにして約4mピッチで整列配置。システムの親機としてフロアごとの器具を制御するエリアコントローラー、接続機器に信号を供給する通信ユニット、通信ユニットを増設するためのサブコントローラー、それに人感センサーを組み合わせ、不在時の明るさをカットして省エネが図られています。照明制御は、壁スイッチ制御とタイムスケジュール制御により、管理運営時は運用に適した上限75%調光、終電30分後から初電前30分までは保安上、下限25%調光としています。さらに、管理運営時には照明通信機能により、駐輪場内の多分割された通路と区分された各エリアごとに設けた人感センサーにより、人の動きを検知して、人がいる通路・エリアは上限75%調光、不在時は一定時間後下限25%減光とし、不要時のあかりを削減しながら保安性のよいシステム構築としています。



1階原付自転車駐車場 多分割した通路に沿って、通信機能付FHF32W2灯用反射笠器具を整列配置



地下1階の自転車駐車場 T/Flecs照明による人がいる時の75%調光



T/Flecsが配置されている天井面



エリアコントローラー 通信ユニット 人感センサー



地下1階の自転車駐車場 T/Flecs照明による人がいない時の25%調光



出入口の照明 LEDダウンライトユニットフラット形を採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
自転車駐車場	蛍光灯反射笠器具ガード付 (高出力連続調光25~100%通信機能付)	FHT-42107KMD9-S	479	32WHf蛍光ランプ×2
	エリアコントローラー	TTFAC01A	2	—
	サブコントローラー	TTFSC01A	1	—
	通信ユニット	TTFUC01A	14	—
	人感センサー	TTFST01A	139	—
	壁スイッチ	TTFSF04A	3	—
	LEDダウンライト(LEDユニットフラット形500シリーズ)	LDD85000-LS	27	LED 消費電力:6.4W